

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	言語発達障害治療学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 6,7時限他	教室名	402
担 当 教 員	藤原淳寛 堀 一夫	実務経験と その関連資格	児童精神科・児童福祉施設等において言語コミュニケーションの評価・指導を行った。 聾学校、養護学校、小学校等で教員として言語コミュニケーション指導を行った。			
《授業科目における学習内容》						
言語発達障害の評価・検査・分析を行い、指導計画を総合的な観点から立案・実施することを学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト 玉井ふみ・深浦順一編「言語発達障害学第3版」医学書院, 2021 ・参考図書 尾崎他編「知っておきたい発達障害のアセスメント」ミネルヴァ書房, 2016 						
《授業外における学習方法》						
・いろいろな機会をとらえて、実際に子どもに接する経験をすることが望ましい。						
《履修に当たっての留意点》						
・検査結果等を解釈して指導計画を作成するとき、「個々の子どもに応じて工夫をしようとする態度」を身につけることを大切にしたい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	観察・記録の方法について理解し、説明できる。	・配布プリント		・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
		各コマにおける授業予定	事例を通して、観察・記録の方法について学ぶ。			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	遠城寺式乳幼児分析的発達検査法、乳幼児のコミュニケーション発達アセスメント(ASC)の内容を理解、実施して、指導計画の作成ができる。	・配布プリント		・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
		各コマにおける授業予定	遠城寺式乳幼児分析的発達検査法、ASCの実習。			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	津守稲毛式乳幼児精神発達質問紙法、S-M社会生活能力検査の内容を理解、実施して、指導計画の作成ができる。	・配布プリント		・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
		各コマにおける授業予定	津守稲毛式乳幼児精神発達質問紙法、S-M社会生活能力検査の実習。			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	KIDS乳幼児発達スケールの内容を理解、実施して、指導計画の作成ができる。その他の発達検査の概要を知る。	・配布プリント		・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
		各コマにおける授業予定	KIDS乳幼児発達スケール、実習。その他の発達検査の概要を学ぶ。			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	新版K式発達検査2001の概要を理解し、説明できる。	・配布プリント		・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
		各コマにおける授業予定	新版K式発達検査2001の概要を学ぶ。			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 ウェクスラー式知能検査(WPPS,WISC,WAIS) の内容・実施方法について理解し、説明できる。(1)	・配布プリント	・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
	各コマにおける授業予定	ウェクスラー式知能検査(WPPS,WISC,WAIS) の実習1。		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 ウェクスラー式知能検査(WPPS,WISC,WAIS) の内容・実施方法について理解し、説明できる。(2)	・配布プリント	・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
	各コマにおける授業予定	ウェクスラー式知能検査(WPPS,WISC,WAIS) の実習2。		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 ウェクスラー式知能検査(WPPS,WISC,WAIS)の結果の解釈と指導計画の作成ができる。	・配布プリント	・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
	各コマにおける授業予定	ウェクスラー式知能検査(WPPS,WISC,WAIS) の結果の解釈と指導計画の作成について、事例を通して学ぶ。		
第9回	講義実習形式	授業を通じての到達目標 KABC-II の内容・実施方法について理解し、説明できる。(1)	・配布プリント	・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
	各コマにおける授業予定	KABC-II の実習1。		
第10回	講義実習形式	授業を通じての到達目標 KABC-II の内容・実施方法について理解し、説明できる。(2)	・配布プリント	・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
	各コマにおける授業予定	KABC-II の実習2。		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 KABC-II の結果の解釈と指導計画の作成ができる。	・配布プリント	・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
	各コマにおける授業予定	KABC-II の結果の解釈と指導計画の作成について、事例を通して学ぶ。		
第12回	講義実習形式	授業を通じての到達目標 DN-CASの内容・実施方法について理解し、説明できる。	・配布プリント	・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
	各コマにおける授業予定	DN-CASの実習。		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 DN-CASの結果の解釈と指導計画の作成ができる。	・配布プリント	・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
	各コマにおける授業予定	DN-CASの結果の解釈と指導計画の作成について、事例を通して学ぶ。		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 いろいろな知能検査(田中ビネー、DAM等)の内容を理解、実施して、指導計画の作成ができる。	・配布プリント	・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
	各コマにおける授業予定	田中ビネー、DAM等の実習。また、結果の解釈と指導計画の作成について、事例を通して学ぶ。		
第15回	講義実習形式	授業を通じての到達目標 S-S法の内容が理解を理解して、実施できる。	・配布プリント	・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
	各コマにおける授業予定	S-S法の実習。		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	言語発達障害治療学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 6,7時限他	教室名	402
担 当 教 員	藤原淳寛 堀 一夫	実務経験とその関連資格	児童精神科・児童福祉施設等において言語コミュニケーションの評価・指導を行った。 聾学校、養護学校、小学校等で教員として言語コミュニケーション指導を行った。			
《授業科目における学習内容》						
言語発達障害の評価・検査・分析を行い、指導計画を総合的な観点から立案・実施することを学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(100%)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト 玉井ふみ・深浦順一編「言語発達障害学第3版」医学書院, 2021 ・参考図書 尾崎他編「知っておきたい発達障害のアセスメント」ミネルヴァ書房, 2016 						
《授業外における学習方法》						
・いろいろな機会をとらえて、実際に子どもに接する経験をすることが望ましい。						
《履修に当たっての留意点》						
・検査結果等を解釈して指導計画を作成するとき、「個々の子どもに応じて工夫をしようとする態度」を身につけることを大切にしたい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	S-S法の結果の解釈と指導計画の作成ができる。(1)	・配布プリント		・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
		各コマにおける授業予定	S-S法の結果の解釈と指導計画の作成について、事例を通して学ぶ。			
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	S-S法の結果の解釈と指導計画の作成ができる。(2)	・配布プリント		・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
		各コマにおける授業予定	S-S法の結果の解釈と指導計画の作成について、事例を通して学ぶ。			
第18回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	質問応答関係検査の内容を理解、実施して、指導計画の作成ができる。	・配布プリント		・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
		各コマにおける授業予定	質問応答関係検査の実習。また、結果の解釈と指導計画の作成について、事例を通して学ぶ。			
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	LCスケールの内容を理解、実施して、指導計画の作成ができる。	・配布プリント		・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
		各コマにおける授業予定	LCスケールの実習。また、結果の解釈と指導計画の作成について、事例を通して学ぶ。			
第20回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	読み書き検査の内容を理解、実施して、指導計画の作成ができる。	・配布プリント		・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
		各コマにおける授業予定	読み書き検査の実習。また、結果の解釈と指導計画の作成について、事例を通して学ぶ。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	PVT-R、他の言語検査(LCSAなど)の概要を理解する。	・配布プリント	・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
		各コマにおける授業予定	PVT-Rの実習。また、いろいろな言語検査(LCSA、ITPAなど)の概要を事例等を通して学ぶ。		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	発達相談・教育相談と評価	・配布プリント	・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
		各コマにおける授業予定	発達相談・教育相談を通じた評価について、事例を通して学び、さらに環境調整につながる情報分析を行う。		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	教育相談と複数の検査を使った解釈	・配布プリント	・配布プリントを振り返り、基礎基本の内容について、理解をする。
		各コマにおける授業予定	WISC、K-ABC、ITPAなどの検査結果を総合解釈して、指導計画を作成、実施することを学ぶ。		
第24回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第25回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第26回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第27回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第28回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第29回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第30回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			